

高校男子 バスケ 新人戦 支部大会3・4回戦

11月3日、専大附属高校体育館で行なわれた新人戦第2支部大会3回戦、桜美林高校と対戦、試合開始から試合の主導権を握り危なげない試合運びで勝利4回戦へ駒を進めた。11月6日、4回戦、明星高校サブアリーナで、

明星 89-40 桜美林

明星 91-58 都狛江

都立狛江と激突した。この試合に勝てば支部8位となり本大会出場が決まる。試合開始早々、安藤がゴール下までドリブルで走りこみ得点をあげると廣澤・石坂が連続得点、相手を突き放すかと思われたが、相手の3点シュート、明星のパスミスが重なり一進一退の攻防が続く、気を抜いた訳ではないが歯車がかみ合わない、相手の飛び込みのリバウンド、ボールに対する執念が上回った。第1ピリオド、20-28、8点ビハインドで終わる。ピリオドタイムにベンチから指示が出る、「慌てるな」「走りこめ」「オールコートで当たれ」第2ピリオド、オールコート・プレスで相手ボールを奪い安藤・石坂・廣澤が得点、白鳥・五味が3点シュートを決めた、オールコートを走り回る明星は体力の消耗も激しい、頻りにメンバーチェンジ、田中・奥山・長柄が走り回る、第2ピリオド24-7、相手を完全に抑え、前半終わって44-35、試合の主導権を握った。後半に入っても明星の流れは止められず得点を重ねた、田中・安藤が相手ボールをスチール誰もいない相手コートを走り抜けた。1年の田中・真鍋・加藤も活躍、先輩に負けじと走り続けた。チャンピオンを目指せ。天辺目指せ！！

高校女子 バスケ 新人戦 1回戦

11月6日、府中東高校体育館で新人戦1回戦が行なわれ鷗友学園と対戦した。試合開始早々、亀掛川が連続得点、

明星 127-17 鷗友

白井が3点シュートを決め試合の主導権を握る。相手の攻撃をピシヤリと押さえ速攻、中川・南部・永野が連続得点、前半58-14、試合を決定付けた。後半に入っても手を緩めず中山・宮島が得点を重ねた。終盤、怪我から復帰、公式戦初参戦、ルーキー未住野が初得点、ベンチから大きな拍手、小さく片手を握りガッツポーズ、喜びを噛み締めた。1回戦突破、初めの一步を大きく踏み出した。頑張れ！！頂点目指して一本道を突き走れ！！

高校男子 ハンド 秋季大会選抜都予選4回戦

11月6日、明星高校メイン・アリーナで秋季大会選抜東京都予選4回戦が行なわれ早稲田実業と対戦した。試合開始、相手が先制、金森が取り返し高橋が逆転、それもつかの間相手が得点、同点とされる、シーソーゲーム、しかし、早実が僅かに先行、明星が追いかける展開、8-10早実リード、残り時間5分、金森・加藤が得点、同点、走り勝った、残り時間2分、大木・桜井が走り抜け相手を振り切りシュート、前半12-10で折り返す。夏の走り込みの成果が出た。後半に入ると当たりにも差が出始めた、重りの入った黒いベストを着て走った、当たり負けしない、相手を押し込んでシュートまで行けた、執念、最後まで諦めない、コートに転がるボールを桜井が飛び込んで味方にパス、GK山形がハーフラインを越えるロングパス、チャンスを逃さない、25-18勝利を手にした。ナイスゲーム！！

高校女子 バドミントン 新人戦5回戦突破西東京8位

11月3日から始まった新人大会団体戦、明星は1回戦シード2回戦からの出場、2回戦、明大中野八王子と対戦、シングルスで相手エースと対戦した森山が踏ん張り勝利、3-2薄氷踏む勝利を手にした。3回戦、都西と対戦。シングルスで川村波・森山が勝ち、石塚まで回る事無く3-1で勝利。6日、4回戦、都井草と対戦、ダブルス、齋藤・熊澤ペア、石塚・森山ペア、で2勝、川村波が勝つとシングルス2つを残して3-0勝利。5回戦、都石神井と対戦。都大会出場がかかる試合、ダブルス石塚・森山ペア、実力を発揮勝利、齋藤・熊澤ペアは粘るが敗戦、シングルス川村波が21-15、21-12で勝利、2勝1敗、王手をかけた、エース同士の対決、石塚も相手も一歩引かない、長い長いラリーが続く、シャトルを叩く音だけが会場に響く、息を呑む、手に汗を握る、試合の主導権は石塚にあった、最後勝負を制したのは石塚だった、会場割れんばかりの拍手、抱き合って喜ぶ部員、部長の熊澤の頬を涙が伝う、握り締めたこぶし、都大会出場権獲得、西東京ベスト8、「嬉しい」喜びを噛み締めた。小林監督は「実力伯仲、一つのミスで流れが変わる試合で選手達は勝負に勝った。成長を見せてくれました」と興奮冷めやらぬ会場で喜びを口にした。おめでとう！！

高校女子 ハンド 秋季大会選抜都予選4回戦

11月6日、明星高校メイン・アリーナで秋季大会東京都予選4回戦が行なわれ都立小岩と対戦した。試合開始早々、多田が得点、桑原・新里・安部・後藤・野口が連続得点、13分間相手をノーゴール、前半14-2と圧倒して折り返した。後半開始早々、ムードメーカーの柿野が右サイドからカットイン、左ききの柿野はGKを翻ろう、ネットを揺らすとベンチは大盛り上がり、野口が続いて得点、試合を決めた。警告はもらったが白井と星野が身をていした鉄壁の守り、32-9で勝利、5回戦へ駒を進めた。頑張れハンドボール部！！

高校男子 バレー 新人大会 予選リーグ突破

11月6日、東京電機大学高校体育館で新人大会予選3チームリーグが行なわれた。明星は明治学院・都立雪谷と対戦した。第1試合、明治学院、第1、第2セットともに中盤までリードされる苦しい展開、最後追いつき逆転する粘りを見せ2-0で勝利。第2試合、雪谷には190cmのサウスポーのアタッカー、クイックにアタックに苦しめられ22-24のセットポイントまで追い詰められた、上岡監督、タイムアウト・メンバーチェンジ、「神が降りた」魔法の言葉か？ 指示通り選手達は動く、同点、逆転、26-24で第1セットを取った、第2セットの雪谷は敵ではなかった、25-12で勝利。リーグ戦2勝となった。

コート決勝、予選リーグを勝ちあがった都立拝島と対戦。出だしこそ競ったが中盤以降は相手を寄せ付けず2-0で勝利、都大会出場を決めた、東京都ベスト36進出を決めた。

試合ごとに成長した。ミスに慌てない、点差に惑わされない、その時できる最善のプレーを選択できた、13日の都大会でも力を出し切ることを誓う。力を出し切れれば勝利は確実。

高校男子 バドミントン 新人戦2回戦

11月3日、明星体育館で新人戦1・2回戦が行われ、1回戦、都昭島と対戦、3-1で勝利。2回戦、シード校の狛江高校と対戦、ダブルスの石井・野島ペアは20-22、岸田・福地ペア、17-21と最後まで競り合うが1歩及ばず敗戦となった。リベンジを誓う。

高校女子 バレー

新人大会 予選リーグ

1月3日・6日、筑波大附属高校で新人大会予選リーグが行なわれた。6校による予選リーグ、都王子・都三商・都飛鳥・都福生・成城と対戦した。3日、3試合、飛鳥・三商・成城と対戦、成城に2-0で勝利、三商に2-1で勝利、飛鳥に20-25, 23-25と粘るが敗戦、2勝1敗となる。6日、王子・福生と対戦、王子には良い所なく0-2で敗戦、最終戦全勝の福生と対戦、第1セット、びびったのか良い所なく7-25、キャプテン池竹が吠えた「全勝チームに7点取れた、もっと取れるよ!!こんなじゃない」選手達に火がついた、池竹がトスをあげる、桑原のスパイクが決まる、石原が強気のスパイクを決めた、明星リード、桑原が相手エースをブロック、全員で声をあげた、意地が見えた、20-25敗戦だったが次につながる戦いが出来た。2勝3敗、予選リーグ4位、決勝進出はならなかったが二部大会出場権を獲得、出直した、もっと強くなる、二部大会でさらなる飛躍を誓う。

中学 水泳

東京都秋季水泳競技大会

* 400mフリーリレー東京都3位 直井・横山・林・鎗田

* 林 ジュニア・オリンピック出場権獲得

10月29日、東京都辰巳国際水泳場で東京都秋季水泳競技大会が行われた。13~14歳男子100m背泳ぎで1年の林が1分01秒06、(中学1年では1位の記録)で6位入賞、第39回全国JOCジュニア・オリンピック春季大会の出場権を獲得した。13歳以上男子400mフリーリレーでは3分59秒29のタイムで日大豊山中学・早稲田中学に続く第3位となった。新井監督は「1位の日大豊山は今年の全中優勝校、名門早稲田は全員3年生、次に明星が名だたる強豪校を抑えて3位となりました。4分を切るタイムは関東大会出場タイム。来年、関東・全国大会目指して頑張ります」と嬉しそうに話された。男子50m自由形では鎗田・直井が28秒台を出しベスト更新。13歳以上女子400mフリーリレーでは今井・佐々木・古澤・早乙女が4分36秒30で今期ベストタイムを更新した。水泳部の頑張りに大きな拍手を贈ろう!!春大きく飛躍する為に、冬のトレーニングに燃えろ!!

中学女子 硬式テニス

多摩大会予選突破

11月3日、明星会場で第9・11ブロック多摩大会が行われた。23校が5グループに分かれリーグ戦、1位のみが決勝ラウンドへ進む。明星は三鷹4・府中5・狛江2と戦った。

【第1試合】VS府中5

ダブルス=荒木・磯沼ペア、青木・池亀ペア、シングルス=佐野・野口・蝦名

【第2試合】VS狛江2

ダブルス=荒木・奥山ペア、青木・曾我ペア、シングルス=中崎・野口・蝦名

【第3試合】VS三鷹4

ダブルス=荒木・佐野ペア、青木・奥山ペア、シングルス=中崎・野口・蝦名

3試合全勝、パーフェクト、ダブルス2つ、シングルス3つ、全勝で予選リーグを突破した。毎試合、ダブルスの組合せを変えた。部員19人全員で戦う、猪狩監督の指導と作戦だ。全勝にも驕らず前を見る。「勝った時に反省点を見つけるの」と猪狩監督は優しく話す。

中高女子 硬式テニス

私学大会団体戦

中学・高校混合チームの私学大会団体戦が有明テニスコート他で行われた。明星からは4チーム参加、A・B・Cの3チームが3回戦を勝ち上がって11月6日、4回戦に臨んだ。Aチーム 大金星を・・・

Aチーム : 高校、小幡・高橋・大久保・西村、中学、ヒリアー・荒木・蝦名・野口
4回戦、国学院久我山高校Aと対戦。ダブルスで3勝。

5回戦、中央大附属Aと対戦。ダブルス3、大久保・ヒリアーペアが大接戦7-5で勝利、チームに勢いをつけた。ダブルス2の高橋・小幡も7-5で勝利、蝦名がシングルスで圧勝し6回戦へ駒を進めた。

6回戦、シード校の日大三高と対戦。この試合に勝てば東京都ベスト8。ダブルス3、大久保・ヒリアーペアはプレッシャーか普段の動きが見られず1-6で敗戦。ダブルス2、高橋・小幡ペア、相手を気迫で圧倒、6-1で勝利。

ダブルス1、野口・荒木中学ペア、高校生相手に大健闘、マッチポイントまで相手を追い詰める。王手、あと一つ取れば勝ち、高校生は緊張していた、中学1年2年には負けられない気合をいれ直し一か八かの勝負で出られた、野口・荒木も戦った、体の小さい二人には負担が大きかったに違いない、5-7の惜敗となった。

シングルス、蝦名は中学2年ながら高校生に圧勝。

有明では5面で同時に試合が進行した。シングルの蝦名とダブルスの高橋・小幡ペアが勝った時点であと一つ、野口・荒木ペアかシングルの西村が勝てばベスト8が決まった。シングルス、西村は5-2マッチポイントまで相手を追い詰めた、ここから相手の大逆襲、西村も必死で応戦長い試合が続く、タイブレーク、みんなが声を嗄らした、あと一歩5-7で惜敗となった。

東京都ベスト8を逃した事は大きい、明星の力が上位校にも劣らない事を証明した。それで満足ではない、負けは負け、この悔しさをバネにさらに飛躍、精神的にもタフになる。

Bチーム : 高校、金指・梶村・山口・榎本・齋藤・松野、中学、青木・池亀

4回戦、桐朋中高Bと対戦。ダブルスで3勝。5回戦へ駒を進めた。ダブルス3、山口・金指ペア、互角の試合展開も我慢のテニスで6-4で勝利。ダブルス2、青木・池亀ペア、1-4とリードされるが「このまでは終われない」奇跡の逆転、連続5ゲームを取って6-4で勝利。

シングルス1、梶村・齋藤ペア、序盤から齋藤のボレーが炸裂、梶村のサウスポーサーブが決まり危なげない試合運びで勝利。

Cチーム : 高校、石森・角平・三枝・新野・西山、中学、新井・平澤、佐野、中崎
4回戦、大妻多摩中高Aと対戦。2勝3敗で敗退。

ダブルス3、三枝・西村ペア、出だし相手に先行されるも追いつくが一歩及ばず敗戦。ダブルス2、新井・佐野ペア、ラリーで粘りボレーで得点、6-3で勝利。ダブルス1、石森・角平、シーソーゲーム、粘りに粘るが最後僅かに及ばず5-7で敗戦。シングルス、平澤、強気のラリーとサーブで圧倒6-1で勝利。

シングルス、新野、確実にサーブを入れ、ラリーを続けるが中盤ミスが出て惜敗。

*訂正 前回、硬式テニス部「Dチームの活躍」に1年生の田村の名前が漏れていました。
ゴメンネ、田村。19人全員で戦う中学硬式テニス部を応援しています。ガンバ

